

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 121	提案機関名 横浜市漁業協同組合
要望問題 貝毒及び貝毒プランクトンのモニタリングについて	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 横浜市漁協のみならず、東京内湾で二枚貝を養殖している地区では、出荷前に枚毒検査を実施して、安全な二枚貝を販売している。しかしながら、貝毒検査費用はかなり高額であり、頻繁に実施することは困難である。 そこで、東京内湾での貝毒プランクトンのモニタリングを実施していただき発生時に情報を提供していただくと共に、定期的な貝毒検査の実施を要望するところである。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画資源部（普及指導担当）
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 漁業の担い手育成・水産業改良普及活動		
対応の内容等	平成26年度から、普及活動の一環として月1回の貝毒プランクトン調査を実施しています。 これから、貝毒プランクトンの分析に必要な職員の技術向上をはかり、漁業協同組合へ情報提供ができるよう努めてまいります。 さらに、貝毒プランクトンの発生状況と貝毒の毒量の関係については、東京内湾では未解明な部分もあり、今後の課題として検討してまいります。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			